

得意科目の学力をどんどん伸ばすには、飛躍的に伸ばすには

ー過去問研究と、先学年の先取り学習、どんどん予習をー

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 皆さんはこの秋の連休をどのようにお過ごしになったのでしょうか。私は、10月7日・8日に名古屋に行かせていただきました。開倫塾は塾生数約7000名の塾ですが、名古屋にあります野田塾は14000名～15000名くらいの塾生がいらっしゃる学習塾で、その野田塾が主催なさいました「全国模擬授業大会 in 名古屋」という学習塾の先生方の集まり・研修会に行ってきました。
3. 「全国模擬授業大会」というのは開倫塾が7年前に始めさせていただき、毎年5月の最後の日曜日に足利市で開催させていただいています。今年が第7回でした。その名古屋版を野田塾が開催なさって今年で2年目になります。名古屋市という非常に交通の便がよいところですし、また、野田塾は全国でも有名な塾ですので、全国から300名くらいの学習塾の先生方が集まりました。そして、学習塾の授業の導入部分、つまり「これはこうなんだよ」という導入部分の15分間の授業を、英語、数学、理科、社会、国語について先生方が授業の腕を競い合いました。
4. 1位になったのは北海道の「練成会」という塾の代表の先生です。「練成会」も10000名以上の生徒さんがいらっしゃるすばらしい学習塾です。先生方は、半年以上かけて一所懸命準備をなさって大会に臨んでいらっしゃいました。本当にすばらしい大会でした。どのように授業を行うのか・生徒の理解をどのように促進するのかについて一所懸命授業の腕を競った大会に2日間出席させていただき、本当に勉強になりました。開倫塾からも十数名の方が出場なさり、かつて日本一になった足利東校の廣瀬先生が、1日目に中学3年生の数学のモデル授業を行いました。とてもすばらしかったです。
5. そこで今日は、「得意科目の得点や偏差値を10月中旬から年末にかけて大幅に伸ばすにはどうしたらよいか」というお話を少しさせていただきます。
6. 一番よい方法の1つは、昨年度の全国の公立高校科目別問題集をやることです。本屋さんに行きますと、昨年度の全国の公立高校科目別問題集がありますので、北海道から九州・沖縄まで1日1都道府県分ずつ時間を決めて解くとよいですね。そのときに、解答は問題集に書き込まないでノートに書き込むことがよいと思います。なぜかといいますと、次の日にノートに間違えた問題をもう1回解

いて誤答分析をするためです。問題を解いたあとは、授業を受けるようなつもりで一語一語丁寧に解説を読んで理解に励むことがよいですね。問題集は、すべての都道府県分を一度解き終えたら、もう1回か2回、できれば5回ぐらいすべての問題を解き直すと、中学3年生の偏差値は本当に上がります。

7. また、大学入試センター試験を受ける高校3年生の場合もやり方は決まっています。センター試験の問題は公表されていますので、1つの科目について15年分ぐらいの過去問を、1日1回分を丁寧に丁寧に解くとよいです。できれば同じ年の過去問を5回ぐらい繰り返し解いて、さらにそれを15年分ぐらい解くと、その科目の偏差値はかなり上がります。これが、1つのやり方です。

8. もう1つのやり方は、中学3年生であれば得意科目の高等学校の教科書や参考書を買ってきて勉強するという方法です。中学生であっても本屋さん頼めば高等学校の教科書が手に入ります。最近では、高校を卒業した社会の方が高校の各教科の勉強をもう一度やり直すための参考書や教科書がたくさん出ています。少し大きめの本屋さん売っています。ですから、それらの教科書を購入してどんどん勉強してください。社会人のための日本史、世界史、政治経済、社会人のための数学、高校を卒業した人のためのやり直す高校数学など各科目ごとにたくさん出ています。本屋さんの店員さんに聞けば教えてくれますので、ぜひやってみてください。そのときはノートを取りながら勉強し、わからないところは高校生用の比較的やさしい参考書を買ってもらい、それを辞書代わりに調べるとよいですよ。このような形で、中学3年生でも高校生の勉強をするとよいですよ。

9. 高校3年生の場合は、得意科目の大学の教科書をどんどん勉強するとよいです。このようにしてぜひ勉強してみてください。探せばいくらでも教材は売っています。得意科目の勉強に遠慮は一切不要です。中学生でも高校生でも勉強するのが一番ですので、ぜひやっていただければと思います。

10. また、中学校や高校の勉強だけではなく、図書館に行って得意科目についての詳しい本を探すのもよいと思います。たくさん本を読む、新聞を毎日読む、雑誌の記事を読む、ホームページを活用する、最新の情報に触れる、このようにすることも得意科目を伸ばす1つの方法です。

11. 得意科目は勉強していて楽しいですので、受験勉強中もどんどん先に先に進んで興味関心を深めていただき、学力を上げていただければと思います。勉強に遠慮は一切不要です。中学生でも高校の勉強をする、高校生でも大学の勉強をする・社会人の勉強をする、大学生は大学院生の勉強をする、小学生、中学生、高校生、大学生は社会人の勉強をする。どんどん、先へ先へと勉強をする。英語や外国語の読める人は日本語以外の言語でどんどん勉強をする。このようなことが一番ですので、ぜひお試しください。

— 2013年4月8日 加筆訂正 林 明夫 —